

エネルギー・環境分野の中長期的課題解決に資する新技術 先導研究プログラム 令和2年度概算要求額 48.0億円（37.4億円）

産業技術環境局 研究開発課
エネルギー・環境イノベーション戦略室
03-3501-2067

事業の内容

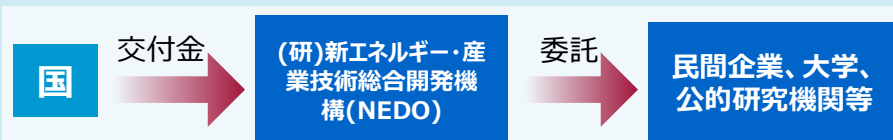
事業目的・概要

- エネルギー・環境分野の中長期的な課題の解決には、革新的な技術・システムの開発が不可欠ですが、中長期を見据えた企業の研究開発は低迷しています。
- 本事業では、パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略（令和元年6月閣議決定）及び「革新的環境イノベーション戦略」（同年12月策定予定）に基づき、開発リスクを伴う革新的または非連続な技術である一方で、社会へのインパクトが大きく世界を先取る技術について、シーズ・ニーズの両面から原石を選びすぐり、将来のプロジェクト候補となる先導的な研究を行います。
- また、技術戦略策定のための調査も行い、プロジェクトの立ち上げの一層の円滑化を図ります。さらに、広く世界に対し、成果等を発信することで研究開発への投資促進を図ります。

成果目標

- 再エネ・CO2削減等の分野の中から、本研究成果を活用した研究開発プロジェクト（国家プロジェクト等）の創出を目指します。本事業は平成26年度から令和5年度までの10年間であり、令和5年度において49件の国家プロジェクトの創出を目標とします。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ



【研究開発の種類】

- 先導研究：2030年頃に実用化するような技術のプロジェクト化を目指す先導研究。1年間先導研究を実施し、中間評価により、継続が必要と判断された案件については、最長2年間の先導研究を実施。＜委託＞
- 未踏チャレンジ2050：エネルギー・環境イノベーション戦略で特定された分野を中心に2050年頃という長期的観点から、革新的シーズ探索研究開発を実施。途中、中間評価を行って、継続が必要と判断された案件については、最長5年間の研究開発を実施。＜委託＞